

2021 年 3 月 14 日(11 週目) 主日礼拝

「伝道とレムナントと養育運動」(ネヘ 6:15-16)

神様は神殿建築を喜ばれる。ダビデ、ソロモンは神殿運動を通して多くの答えを受けた。しかし、イスラエルが偶像崇拜をする時に問題が起こり、バビロンの捕虜になった。その後、ペルシャの国のクロス王が、バビロンを潰していった。クロス王は、イスラエルの人々を帰還させて、神殿を建築させるようにした。神殿とは救われた神の子供である(Ⅰコリ 3:16)。受け入れただけで、神殿が回復したわけではない。私達が神殿であれば、礼拝を成功するようになり、献身・伝道したいと思うようになる。私達が決心をするだけで、全て神様がなさるようになる。私達が礼拝に成功しているのであれば、他の家族や周りの人々も救われて共に礼拝をすることが出来るようになる。

ネヘミヤの時代には、神殿が建築をされていた。神殿を建築された後に、ネヘミヤは、エルサレムの城壁が崩れてしまったことが分かる。城壁が崩れているので、周りの国の人達が攻撃をして、大変な影響を受けてしまっていた。神様の国がきちんとは完成できていないことを分かった。そのように、私達も、周りの人々が救われていないと、自分自身も悪い影響を受けてしまう。城壁を再建をすることは、自分だけが救われるのではなくて、周りの人が救われることである。私達に信仰さえあれば、必ず主が伝道をなされるようになる。

1.伝道と宣教	2. レムナントと養育	3. 適用
▲城壁を再建をすることは伝道と宣教のことである。 1)祈り—ネヘ 1:4 (1)ネヘミヤの祖父の代からバビロンの捕囚として連れてこられ、ネヘミヤは、ペルシャ帝国の中で献酌長官をした成功した人物であった。 (2)ネヘミヤは、地位で満足をするのではなくて、イスラエルがどのようになっているのか、いつも関心があった⇒神の国について関心があった。 (3)城壁は破壊されたままになっていたことを知るようになった。 (4)城壁が破壊された事が悲しくて城壁を再建できるように祈った(ネヘ 1:6)。 2)答え—神様は、ネヘミヤの祈りを聞かれた。王様、王妃からネヘミヤに城壁の再建の為、イスラエルに戻る許可を受ける⇒ネヘミヤは総督として派遣される。 3)建築—ネヘ 2:17 (1)城壁の再建のために材木などの材料を得た—神様が全てを準備された。 (2)城壁を再建をすることは、私達にとっては伝道をする意味である。 ・周りの人達は間違いのもので攻撃をしてくるからこそ伝道するべきである。 ・私達だけが、キリストを信仰をするだけでなく、家族、職場の人、友人などの周りの人達を伝道して救われるようにするべきである。 —伝道のために必要はものはすべて神様が備えて下さる。 4)サタン—ネヘ 4:1 (1)城壁を建てようと思うと周辺の人々が攻撃をしてきた⇒サタンが攻撃した。 (2)伝道のために、迫害がきたとしてもサタンと戦わないといけない。 5)祭司—ネヘ 4:16-17 (1)イスラエル人の内、半分の民は戦う者、半分の民は城壁を建てる者に分けた。 (2)信仰生活は霊的な戦いである。 ⇒私達が伝道をする、サタンは働くがサタンに騙されず霊的な戦いをする。 6)献身—ネヘ 5:14 (1)ネヘミヤは神の国の為に献身をしていった。報酬も受け取らなかった。 (2)全員が一つとなって献身をした時に、城壁が建てられるようになった。 —私達は一つとなって伝道・献身をする(丸森伝道チーム：一つのチームが伝道しもう一つのチームが経済で支えた⇒大きな伝道運動の働きをした) 7)52 日—ネヘ 6:15-16 (1)全員が献身をした結果、52 日間で城壁が再建されるようになった。 (2)伝道運動は主がなさる—現場の救いの為に祈る(罪の赦し、サタンを砕く)。	▲伝道運動をした後にレムナント運動をする。再生産の働きが起こる。 (ネヘ 7 章～は養育とレムナント運動の話) ○聖書の内容を分かるようにイスラエルの民を養育していった。 1)エズラから聖書を学んだ—ネヘ 8:2-3 (1)エズラがみことばを宣べ伝えた。 (2)祭司が御言葉を噛み砕いて説明した (3)人々が、どんなに神様の前で罪を犯しているのかを理解が出来た(ネヘ 8:7-8)。 (4)人々が涙を流しながら悔い改めた。 (5)ネヘミヤとエズラが、「きょうは、あなたがたの神、主のために聖別された日である。悲しんではならない(ネヘ 8:9)」と慰める。⇒悔い改め (ネヘ 9:1-2)。 2)養育 (1)対象者が福音を受け入れをしたあとに聖書の御言葉を教えて養育をする。 (2)教職者、重職者、EBS チームが新しい家族、レムナントを養育するように。 3)決断 (1)イスラエルの全家が悔い改めて決断をするようになった。 —人々は決断し、押印をした(ネヘ 10:1)。 (2)レムナントたちが福音のために決断を出来るように。 —レムナントを養育するように。 —レムナントたちがネヘミヤのような人物になるように。	▲どのようにして私達は、養育をしてレムナントをたてる事が出来るのか。御言葉を適応する。 1)ただキリストの信仰を持つ。 (1)キリストは全ての問題の解決者である。 (2)キリストが、サタンを打ち砕き、罪を赦し、神様に会おう道となる王、祭司、預言者。 2)キリストと結合 (1)キリストが、私の内にともおられる。 —キリストと私がつになった。 (2)王、祭司、預言者のキリストが共におられる。 —キリストが共におられることを味わうように —キリストに心配、悩み事も話していく。 3)修道院(祈り) (1)ローマが墮落してしまい、修道院を建てて、祈り、伝道をしていった。 (2)ヨーロッパ全体が福音化された。 —宣教をしていくときに生かされるようになる (3)伝道、祈りを中心にする事が大切な事。 4)祈り (1)家族、現場に働く闇の力をキリストの名前によって打ち砕く祈りをする(マタ 12:29)。 (2)対象者の罪の赦しの為に祈る(ヨハ 20:23)。 —暗闇の力が砕かれ、罪が赦されるようになる。 —伝道はなされるようになる。 5)証人となる—ルカ 24:48 (1)キリストを伝える証人となるように。 ▲結論 (1)ネヘミヤのように全て回復する答えを受ける (2)神の国のことにいつも関心を持つように。 —伝道運動、レムナント運動がなされるように。 (3)日本福音化をするためには祈りをする。

現場地教会(2021年3月14日～2021年3月19日)

【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
- 2) イエスわが王よ ここに來られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス來られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより來たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「伝道とレムナントと養育運動」(ネヘ 6:15-16)

【讚美】 253 救いに導く

【祈り】

①教会の祈りの課題

1. 全聖徒が御座の祝福を味わう霊的見張り人となり、福音と祈りでミッションを掴み、日本と237に働く暗闇と霊的戦いができますように。
 2. 全聖徒が霊的医者となり、霊的な病で死んでいく日本と237を、御言葉と祈りで癒すことができますように。
 3. 全聖徒がキリストの霊的サミット大使となり、日本と237のサミットを原色福音で生かして育て、キリストの福音を伝えることによって、日本をキリスト教国家にできますように。
※御国イザヤ牧師に聖霊充満と5つの力が与えられるように。
- ②現場地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。
③現場地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム・祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

福音宣教教会 祈り題	1. 福音宣教教会(ローマ 16:20、25-27) 2. 主任牧師(使徒 6:4、アモ 3:7、創世記 18:17) 3. レムナント(イザヤ 6:13) 4. 癒し(使徒 19:8-20) 5. 日本神学校、東日本神学校(Ⅱ列 6:8-23) 6. 200 都市(創世記 41:36-38) 7. 1000 大学(使徒 19:9-10) 8. 日本総会教会(使徒 6:4、コロ 4:2-3) 9. 日本 8000 教会(使徒 17:1-3) 10. 本部、柳牧師(138、14、24、25、00、237) 11. 日本をキリスト教国家とする(使徒 18:9-10) 12. 237 宣教、太平洋・インド洋宣教(マタ 24:14、使徒 1:8)
契約の祈り (主日礼拝)	1. 自分と家族だけではなく、周りの現場の救いのために涙を持って祈り、チームで妨害するサタンとの霊的戦いをするとき、主が現場福音化を成してくださることを信じます。 2. 新しい家族とレムナントを御言葉で養育するとき、御言葉どおりに生きることを悔い改めて決断し、礼拝者・伝道者として成長することを信じます。 3. 私と一つになったキリストと交わることで、私も王としてサタンを踏み砕き、祭司として人々の罪のために祈り、預言者として福音を宣べ伝え、現場福音化・日本福音化の答えを受けますように。
お知らせ	1. 3月16日 11:00 日本神学校 卒業式 2. 3/30(火)10:00～21:00 日本リーダー修練会(オンライン開催) 3/31(水)13:00-4/1(木)17:00 日本レムナント大会(オンライン開催) 3. 3月21日 聖餐式 4. 4月4日 イースター礼拝、洗礼式
福音宣教教会 主管牧師：御国イザヤ 名古屋市中区栄5丁目23-8／tel:052-238-6003 主日(日曜)1部礼拝 7:00 / 2部礼拝 10:00 / 3部礼拝 12:00	